

社共の「核軍縮」お願い運動への奔走を以て、
東京の反戦運動を開始する。

貝塚「せめてかへりの危険が動搖
上陸かの困難と連帶して、
シナリオ反撃・反攻の間に、
アドリブはない。」のせん
海軍の日本合意軍事演習及び
カベノミヤに日本面権力者は、二
月十五日から五日間「たゞ史
上初の日本陸上大合同指揮所演習を
実施した（東富士演習場）。」とい
ふ彼らは、この指揮所演習にござま

ソウシキに續けて、集団自衛権の行使／ならぬとの複合目的とするものにしてはならない。鈴木自民党政府は、憲法上の制約（日本国憲法は、集団的自衛権を否定したことによる）をも意識していない。「東京防衛」にしてまことにながら、「ソムリエたがなぐり」捨てながら、ソムバソムバへとソウシキへの参加を強行しようとしているのである。

海上自衛隊はいま、二回中毎に予定されている「パック82」環太平洋合同演習（）に、護衛艦三隻、D-41「村雨」、D-42「さわかみ」、D-43「あさぎ」の機をもって参 加しようとしている。半日、力不足の一ヨーハーク（）の各國軍に加之、乙韓国軍（）とも参加する（）。

米ソ核軍事力増
社共は既成左翼・ソ連の脅威
運動を強劫し革命

米軍事行動の核軍事化
強化反対!

一つにして起らあからなければない。
すべての受験生諸君、関西の地なら
反戦闘争の爆発をこもにからでまく
るはないか！

つらつと白米合同演習とリムパック82演習への自衛隊の参加——平和を願い反戦を叫ぶ学生や労働者、人民を疎遠にしてすすめられる政府・防衛省のこうした危険な策動を、われわれは断じて許してはならない。すでに、四月十四日には、国鉄動力車両組合の名を先頭にした、たたかう労働者学生四〇〇〇名が、日本陸上自衛隊阻止の闘いに勇敢に決起した。われわれは、防衛力の強化による日平和凶をしきだ
天王寺区篠山電話17916164

之で、今年中に「合同陸上実戦実動演習」の実施を予定している。

の再編
自衛隊の軍備増強 反対!
ノルマドック82への自衛隊の参加阻止!
海外派兵反対!
反日・反ソ連の東欧政局反対!
強競争 反対!
化反対!
民営化反対!
反戦闘争をたたかおつ!

學生會議

80年却隠して連絡簿にてアマゾンへ大根頂び更

戦略の軸を中国へと転換し、ソ連との石油資源の奪い合いに
かちぬくにめの諸運動必死になつてゐる所めでた。そ
して、これにともなつて西太平洋地域に生じる一定の軍事的
空白と同盟諸国、とりわけ日本の軍事力を動員し埋める」と
とも彼らは同時に追求してきたのである。

こうして一戦ノ政権は、鎌本内閣に軍事力増強、防衛方
向の拡大を高橋に要求し、かつまた韓國人民の吸血鬼“主斗
煙政権へのテコ入れとも強めながら、西太平洋において連
合軍事的包囲していく体制づくりをすすめさせているのだ。
リムバッカ病院は、まさにこうした追求とともに高度化する
ための突破口となるものにはかならないのだ。

他方、ソ連首席大臣から「平和外交」と前面におしだし、
「世界の平和、軍縮のためにかけ継げる」（日本文部省
明治／の復讐）などと吹聴している。だが二つは、アフガニ
スタンやボーラニ（戒厳令発動をコラス指揮したのはソ連
官僚だ）との歴史的犯罪行為をおし隠す煙幕云々をも。平
和の使者、ジラとすると反面で、彼らはますます対抗的な核軍
拡をおし進めているのだ。“アメリカが我々オリ優位に立つ
ことは許さない”などという過激的言辞を弄しながら。

軍事大臣への道を突き進む。鎌木政権と許可なく

ひきとも伴ないながら、いざや米ソの軍事的角逐が始まる。敵化しようとし、ついしたるかど、アメリカ権力者は二重的攻撃に協力・加担しているのが、ほかすらめが鈴木自民党内閣なのだ。鈴木政権はすでに昨年五月の日米首脳会談において、日本の「同盟關係」をはじめ公然と口にして、日本軍事同盟を対立防衛同盟として強化していくことを宣言した。日本はこれらを絶対守らなければならぬ。日本米共同作戦態勢をとることで強化してきていた。そしてまた、必ずしもレーナン政権の要請と全面攻撃に受け入るにあたるはずだが、自衛隊の軍

備を飛躍的に強化することを自論している。(一) 年度予算における軍事予算の大半を増額をせよ。」

こうした運動は、兵器生産・輸出の拡大によつて経済危機の打開をねらう日本獨占資本の野望に賣られにものもある。まさに、死の商人などもの絶対的な要請にもつゞめかれて、資本内閣は、たゞやれる自衛隊つくし。

既に実現するためには、反対運動の圧殺にむけた刑法の改

悪や、さらには憲法の改悪を企てるなど、国内支配体制

ソ連の反対は、米ソの核軍事力増強競争に反対するの争いの爆発をかちとろこ

事態はまさに深刻な持続を呈している。われわれは鉄本政権へのこうした危険な戦争政策を是が非でも阻止しなければならない。

だがしかし、反対運動の現実は自とおおばかりの悲惨さなのだ。たしかに今、知識人による「反核声明」の発表など、「平和」を希望する声が大きく積集しつつあるのに伴う。だが、たとえそれが表へられるものであるとしても、戦争の悲惨さの訴えと「平和」への希望はそれだけではまだ戦争根絶への意志では無い。米ソの「そし日本」の権力者が何取締壇強に明け幕れるのが、その根柢を築きはじく「がえきすういかざり」「平和」への希望はたんなる道徳的空論におけるほかはない。そうした要請は、「平和」のための防衛。とうそぶく鈴木内閣にとてこそは痛もがゆくもないものでしかないのだ。

しかも諦し難いことに社会党や立憲党などは、「平和」への人民の願いにすりより、これを六月の国連軍縮総会に掛けた力の「二アヘとおとしほめす」といふ。アヘンガンやホーランヒーの遺稿をそれまで平和運動の前提としていて、ヘソ連「社会主义」「平和の誓」いう神話を持ち、彼が死んでしまった社共盟成庄翼は、もはや二つに素朴な「平和」への願いに依拠する」とによつてしか「平和運動」を展開しえなくなつてゐるのだ。

すべての諸君、社共の「軍縮」お願い運動をのりこ
て、反戦・反安保斗争に決起せよ、社共の使い走りを
これ努めろり連系・民衆局の腐敗を彈劾し、反戦の大は
とわが大手がらも打ちあげ手う、共にたしかわん。

權力の爭競を追認する。

ヘナ級」に醉しれる殺人狂集団「北小路一派

北小路一派（「中核派」）は「殺し」と謂ふもの殺人狂集團だ!!

第一・第三の十・二十。書院(一九二〇年十二月三十一日)をいたしたがハカ
權力による東洋先生由名の遷就講路の二二)をいたしたがハカ

のミソの連學生のみならず、「此は北小路一派（「甲核派」）の遺孽です。戦争で敗し闘へての全勝利の歴史や、労働者を殺すと言つてこののです。彼ら北小路一派（「中核派」）は、殺人を贅美しそれに酔いしむるのじゃ。

シマムが、このように人殺しを讃美したりやまな「北小路一派」(「田村派」)は、その同じ口が「ノーハ・ヒロシマ」(人間毁灭)は人類史的悲劇であり歴史の原点である。人間の名における正義の名におこな・日本の核武装化に反対しなければならない」(昨春)などと諷諭の言葉。人殺しを讃美しシマヤマナハ輩が、「人間の名におこな」などと「人間」をもち出すとは、開いた口がふさがるだけではなく、まさに二つ三つの口にはなじむしかった。されば豊島が「溢み出でた」と人の道を説教するもつねの元

北山路一派（「中核派」）の「人類史的悲劇」など、「人間」とか、「正義」などといった言葉は全く意識的なものでしかありません。それは、殺人狂集団としての自らの真の姿を隠ぺいするための仮面であり高揚する反戦・平和の

一、彼らは日本階級闘争の最初端で翻弄されたのであるが、労働者、学生を虐殺した(「四年もの」輩なのである。)革命力がフルの量で日本革命の未来を照らすのであるから、さうしてCNLはその一つである。

北の路一派(「中様派」)は、權力の影響を受けるものと見取れ
し連鑑の木々・ファンズなどだ。

廿二日三十一日、革命的暴動的行動者、畠中与吉雄氏(日
川)がその出陣途上(午前六時)の今壇(今壇)にてニ、銃棒の
あてを銃頭をもつた田(田)の馬(馬)を刺殺され、刺殺されたの
に、事態がこの大阪(東大阪市)を起きたのである。この事件は
全く不可解なものにして、すなはち、その矛頭が職業的と言
練されたトロコヘーの暴徒(暴徒)によるものである。⑦襲
撃者、出動途上に二つの馬を一頭外二頭(二頭)、しかも父(父)の
わざな一頭(一頭)のとくの間に(間に)かかれて、⑧したも、襲
撃者の一つ槍(一槍)でトロコヘー車(車)に走る馬を射たからだ。三田(三
の)トロコヘー暴徒(暴徒)も何と所轄の警(警)、
巡警(巡警)が高く逃走したのと、いふのは諸事実で畠中氏を襲
撃(襲撃)した事実で、畠中氏を撃(撃)て、それをかじめ若(若)えの
必(必)死(死)の二更(二更)のうちに(うちに)あおこすのとてわねばな
りません。

藍精・物語ルジヨアシード

乗と不乗の正統を争はせたが、その結果、不乗の勢力が勝利したのである。これが「三里塚闘争」である。

不識之士の假象アリハは勿シニテ、此處の御事
に異論アリ。斷乎處の如クモト御事。我共等一秉前機運也。

アハハハ貴様はの外ならぬ
と云ふ事で三日連続して、少くも一ノ目見に付けられ
候事にか、三日連続して御内を御高時御方の元へ御返りを重ねて